

末梢ライン関連血流感染のリスク要因に関する研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

末梢静脈カテーテルによる血流感染は重篤な病態に繋がるものであり、日本においては血流感染となった30%以上に合併症が認められていることがわかっています。一方で、末梢静脈カテーテルに関連する血流感染の研究データは少なく、患者背景やリスク要因に関する情報が不足しています。

当院では、2015年4月から末梢ライン関連血流感染のデータをとっています。この研究は、今後の感染予防活動のために、リスク要因等の検討を行うことを目的としています。2015年4月1日以降の研究対象となる方の診療記録を収集し、末梢ライン関連血流感染と判定した方と末梢ライン関連血流感染ではないと判断した方の投与薬剤や末梢静脈カテーテルの留置期間などの要因を比較します。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2015年4月～2022年12月に当院に7日以上入院され、末梢静脈カテーテルによる治療を3日以上受けられた方

使用する情報

年齢、性別、診断名、既往歴、入院期間、細菌検査結果、投与薬剤、末梢静脈カテーテル留置期間、合併症、転帰など

研究予定期間

研究実施許可日～2028年3月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 感染管理室 甲斐美里

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 感染管理室 甲斐美里

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)